

個人投資家さま向けWEBセミナー

技術^{おしだ}を押出し、未来へ ワクワク

2026年9月8日

フクビ化学工業株式会社

【東証スタンダード・名証メイン】

証券コード：7871



本日のご説明内容



1. 会社概要
2. 成長戦略
3. 業績推移と株主還元



1. 会社概要

2. 成長戦略

3. 業績推移と株主還元



1.会社概要 暮らしと社会を支えるフクビの技術



住まい（戸建て・マンション）

- ・フェノバード
（高性能断熱材）
- ・樹脂製開口枠（UB枠）
- ・見切材 など



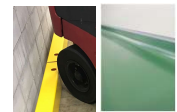
オフィス・商業施設・文教施設

- ・再生木プラスッド
（デッキ・ルーバー）
- ・樹脂製内窓
- ・見切材 など



物流倉庫・工場

- ・樹脂製フォークガード
- ・スパンドレル
（天井・壁装材）
- ・巾木材 など



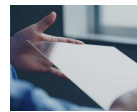
モビリティ（自動車・バス・トラック）

- ・ハーツラス
（高透明・低反射パネル）
- ・イルミネーション部材
- ・内装部材 など



電子機器

- ・カメラレンズカバー
（PC・携帯電話）
- ・液晶保護パネル
（医療モニター） など



インフラ

- ・CFRTP
（炭素繊維複合材）
- ・インフラ補修材 など



まちづくり

- ・ファンダライン
（屋外家具）
- ・屋内コントラクト家具
- ・ソーラーLED照明 など



1.会社概要 基本情報



数字で知るフクビ化学工業株式会社

創立
73年



創業1953年5月25日
本社／福井県福井市

売上高
405億94百万円



前期比 **1.6%増**
2026年3月期／連結

営業利益
17億33百万円



前期比 **11.8%増**
2026年3月期／連結

自己資本比率
72.6%



2026年3月期／連結

製品ラインナップ数

約**9000**点



知的財産権所有件数

約**900**件



国内拠点・従業員数
19拠点／**998**名



国内外連結子会社 **8社**
2026年3月時点

年間配当金
29円

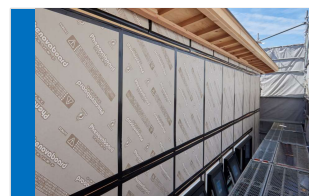
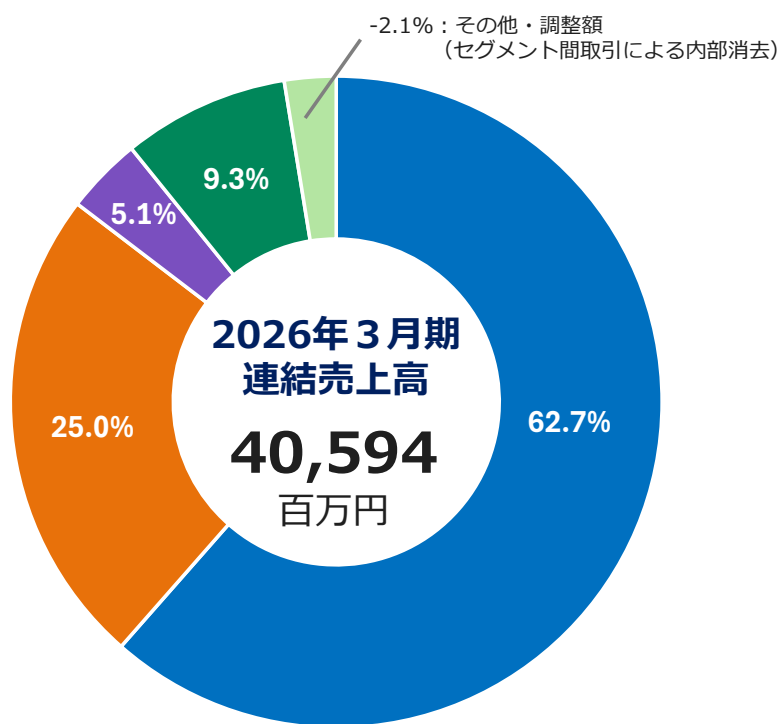


配当性向**33.9%**
2026年3月期実績

1.会社概要 事業内容



セグメント別売上構成比



建材事業

25,440百万円

外装建材、内装建材、床関連材、
システム建材等の開発・製造・販売

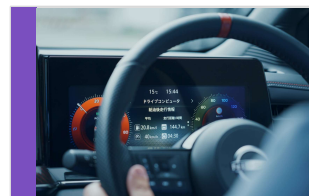


CSE事業※

10,160百万円

住宅設備、車両分野を主とした
OEM・ODM製品等の開発・製造・販売

※ CSE : Customer Satisfaction & Expectationの頭文字を取った造語



精密事業

2,071百万円

反射防止付樹脂シートを主とする
機能性コーティング製品の開発・製造・販売



グローバル事業

3,790百万円

海外市場向けの外装建材、内装建材等
の開発・製造・販売

1.会社概要 当社の歴史



「樹脂」の“配合・成形・加工”技術で様々な分野の日常を支える

“開発型”化学メーカー

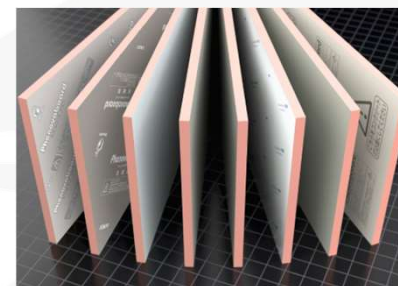
異形押出成形



機能性コーティング



フェノール発泡成形



1953～創業期



- ・福井ビニール工業(株)設立
八木熊吉が代表取締役役に就任
- ・「異形押出成形」をコア技術に
建材メーカーとしての歩みの始まり

1970～成長期



- ・フクビ化学工業(株)に商号変更
- ・『見切り』『バスパネル』など
樹脂製建材のパイオニアとして
成長を続ける

2002～転換期



- ・八木誠一郎(現会長CEO)が
代表取締役社長に就任
- ・「断熱材」「環境配慮型商品」など
新たな成長領域への展開と
産業資材分野の事業領域拡大

2023～2030年に向けて



- ・創立70周年、第7次中期経営計画が始動
- ・森克則が代表取締役社長COOに就任(2024.6)
- ・「企業価値向上2030～資本コストや株価を
意識した経営の実現に向けて～」公表(2025.3)

1.会社概要 当社の強み



化学のチカラで、想いをカタチに。

私たちは、“6つのチカラ”でお客様の想いを実現します。

トップレベルを誇る“生産力”



押出成形機保有台数は100台以上。
「異形押出成形」で業界トップレベル。

創業以来揺るがない“品質力”



厳しい品質管理と
独自の物性評価体制。

多彩な課題に応える“提案力”



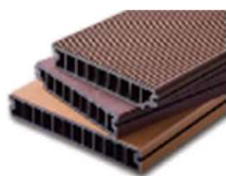
建材から産業資材
まで他業種に
わたる採用実績。

多彩な課題に応える“連携力”



営業、技術、品証、生産。
全国に広がるフクビネットワーク。

想いを実現する“創造力”



樹脂だけでなく、
金属、木材など
素材の特長を
活かした成形提案。

新たな価値を創る“開発力”



素材開発から
成形までの
一貫体制。



本日のご説明内容



1. 会社概要

2. 成長戦略

3. 業績推移と株主還元



2. 成長戦略 中期経営計画進捗



FY25は増収増益。ROEはFY24比0.4P改善、ROICは0.4P低下。FY27計画の達成に向け取組みを継続。

(単位：百万円、%、倍)

		FY21実績	FY22実績	FY23実績	FY24実績	FY25実績	FY27計画
収益性	売上高	36,741	39,567	39,735	39,973	40,594	45,000
	営業利益	1,270	1,554	1,764	1,550	1,733	2,800
	売上高営業利益率	3.5	3.9	4.4	3.9	4.3	6.2
	EBITDA	2,561	2,843	3,006	2,894	3,144	—
	売上高EBITDA率	7.0	7.2	7.6	7.2	7.7	—
	親会社株主に帰属する当期純利益	1,136	1,482	1,704	1,466	1,680	2,160
	EPS	55.7	73.0	85.6	73.8	85.0	—
資本効率	投下資本利益率（ROIC）	3.5	3.7	3.3	3.8	3.4	5.9
	自己資本利益率（ROE）	3.5	4.5	4.9	4.0	4.4	6.0
財務健全性	D/Eレシオ	0.028	0.028	0.034	0.030	0.027	0.4以下
	自己資本比率	66.0	66.0	67.2	68.7	72.6	65.0

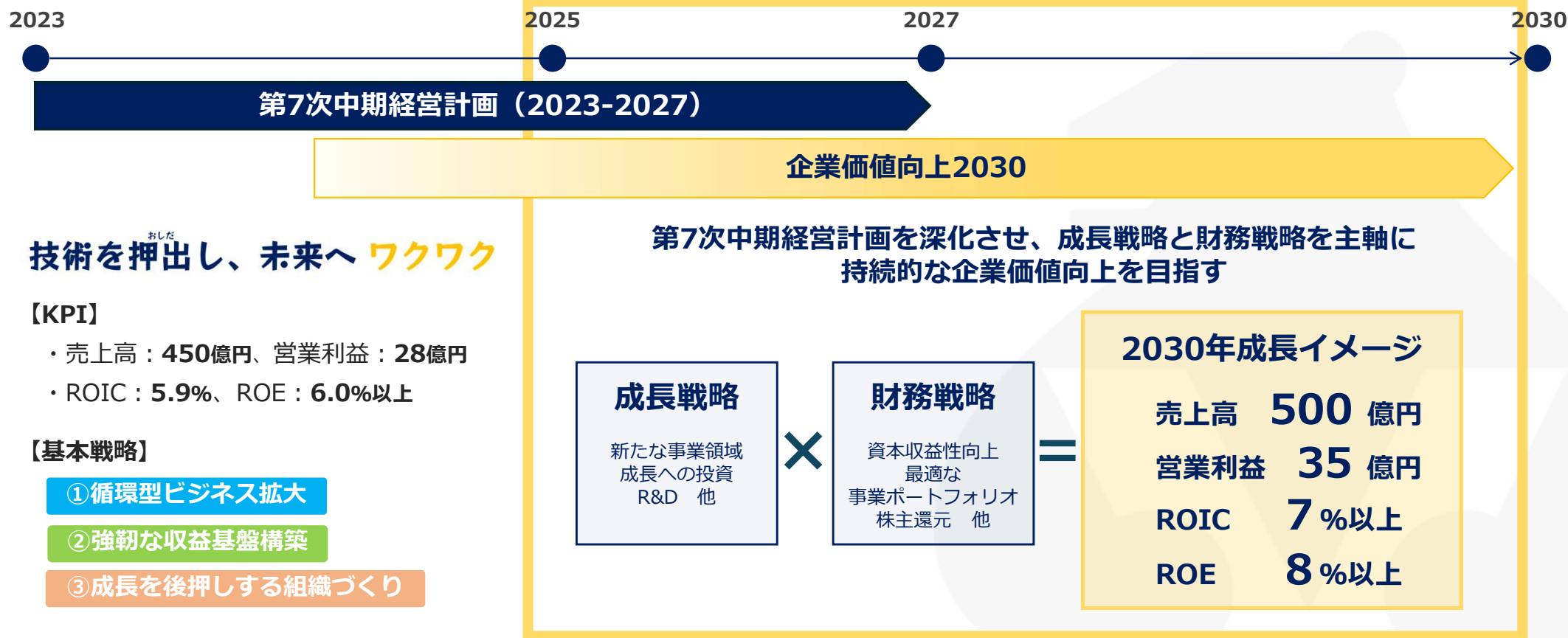
※1 FY=Fiscal Year（会計年度）の略

※2 FY23は休祭日要因調整後の運転資本金額を基にROICを算出

2. 成長戦略「企業価値向上2030」の成長イメージ

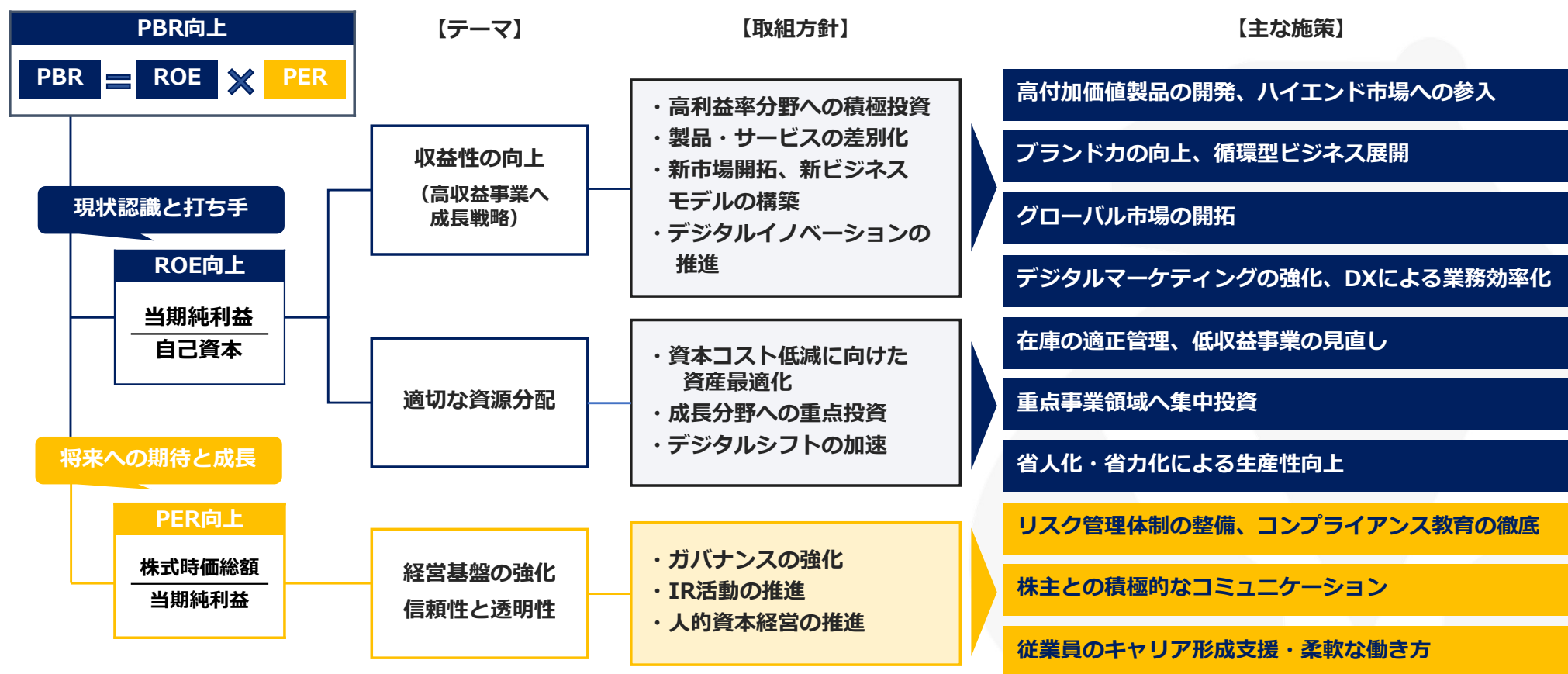


成長戦略と財務戦略を両輪で進め、FY27：ROE6%以上、FY30：ROE 8%以上の実現を目指す。



2. 成長戦略 PBR向上に向けた施策

「現状」の改善と「将来」の成長期待の両面が課題であり、各々の取組方針に基づき施策を展開していく。



2. 成長戦略 キャピタルアロケーション



資本効率を意識したバランスシート改革に取り組み、**成長領域への投資と株主還元を強化。**

FY30までの成長を見据えて
中計5か年のキャピタルアロ
ケーションを見直し、再策定

FY23～FY27 中計5か年累計

キャッシュイン

キャッシュアウト

営業CF
132億円

総投資
137億円

内、成長投資 105億円
維持更新 32億円

現預金、資産流動化
39億円

株主還元 他
34億円

資本（キャッシュ）

負債活用 50億円

株式売却 20億円

営業
キャッシュフロー
(FY23～FY27 5か年累計)
132億円

現預金残高
(23/3期末)
121億円

アロケーション戦略

成長投資
105億円

更新投資 32億円

株主還元 45億円

借入返済等 26億円

現預金
115億円

- 新たな住まい分野 : 45億円
- モビリティ分野 : 5億円
- M&A : 10億円
- R&D、人的資本、DX等 : 45億円

- 配当 : 35億円
- 自己株式取得 : 10億円

資本効率改善によるキャッシュ増
⇒成長投資に活用

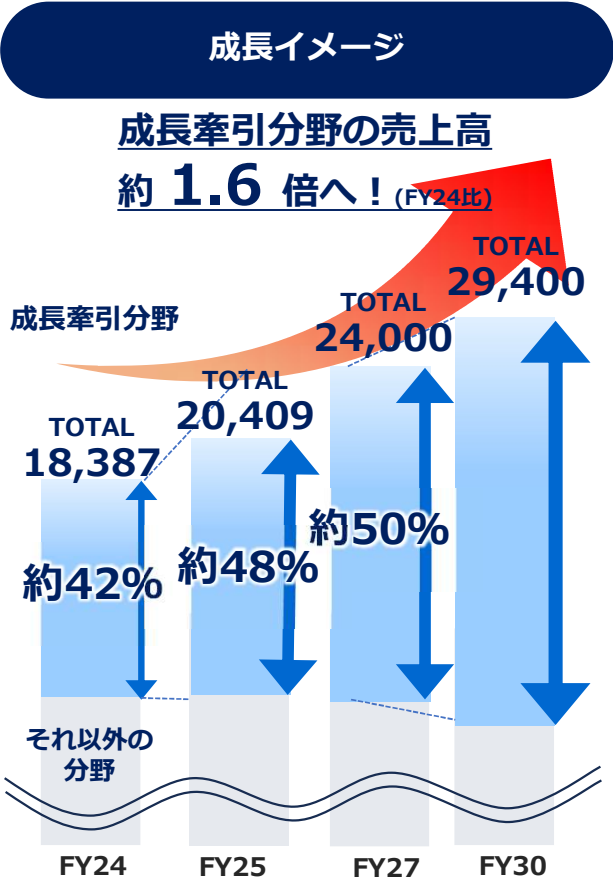
- CCCの適正化 : 15億円
(運転資金0.5ヶ月短縮)
- 政策保有株式の縮減 : 20億円

2. 成長戦略 成長構想について



重点事業領域の拡大

事業 ポートフォリオ マネジメント	重点事業領域	成長牽引分野	展開ブランド等
	新たな住まい オフィス& ファクトリー 	- 高性能断熱建築物/新築 - リフォーム/リノベーション - 非住宅建築物 (オフィス・工場・文教施設など) - リサイクル - 建築資材・OEM 海外 - レンズカバー・機器等 国内・海外	   
	モビリティ 	車載（内装・ディスプレイ） 国内・海外	 光ガイディングバー
	インフラ 	海底ケーブル 土木/まちづくり	炭素繊維強化プラスチック 



2. 成長戦略 成長牽引分野について



新たな住まい

オフィス&ファクトリー

④
リ
サ
イ
ク
ル

①高性能断熱建築物

②リフォーム/リノベーション

③非住宅建築物（オフィス・工場・文教施設など）

⑤建築資材・C

⑥レンズカバー

成長牽引分野（①～⑧計）
FY27売上計画 24,000百万円
FY30売上計画 29,400百万円

⑦車載（内装・ディスプレイ）

⑧海底ケーブル 土木/まちづくり

モビリティ

インフラ

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み①



文教施設の断熱改修

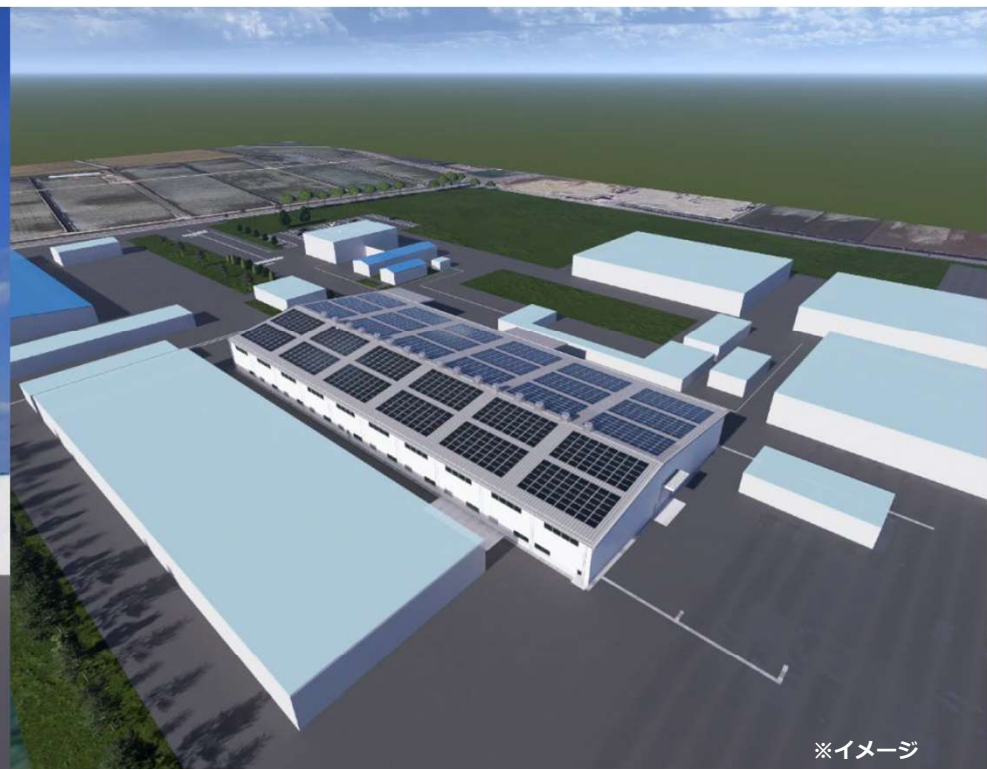


廃校を活用した断熱改修実証プロジェクト ※福井県南条郡南越前町立「今庄中学校」（2022年3月末閉校）

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み②



新工場



※イメージ

『フェノバボード』第2生産拠点（フクビ岡山）

※2027年度竣工予定、投資計画約45億円(経産省「中堅・中小企業の質上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」に採択)

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み③



工場事業の拡大



「フクビ・リフォジュールアーキテクト株式会社」 始動 ※2026年4月よりフクビグループ内の工事業を統合・集約

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み④



工事事業の拡大



光膜空間デザインシステム『リフォジュールスターシステム』

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み⑤



結露・カビ抑制



結露対策の親水断熱軽量パネル『シズクリア不燃』

木質資源の循環



CO₂の固定化に貢献する再生木『プラスッドデッキND KKAA』

※デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み⑥



資源循環



独自の環境配慮型認証制度

「Fukuvalue」対象製品一例

Reduce

薄肉化・軽量設計による使用資源の削減

Reuse

部材の再使用と長寿命化による使用期間の延長

Reuse

使用済み材料を再生原料として製品へ再投入

Renewable

再生木・バイオマス由来素材への転換

Revalue

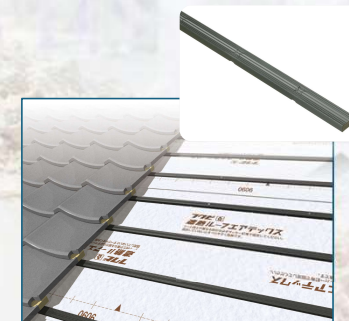
廃材に新たな用途と価値を与える製品化



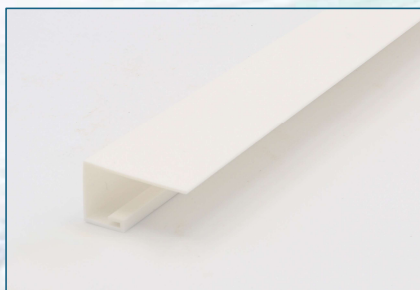
再生木『プラスッド』



遮音材『サイレントドロップ』



樹脂製瓦葺『エコランバー』



『F見切』



床支持具『エコプラ木レン』

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み⑦



海外展開



住宅・非住宅分野において養生材・点検口枠・防水部材などを新たにマーケティング

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み⑧

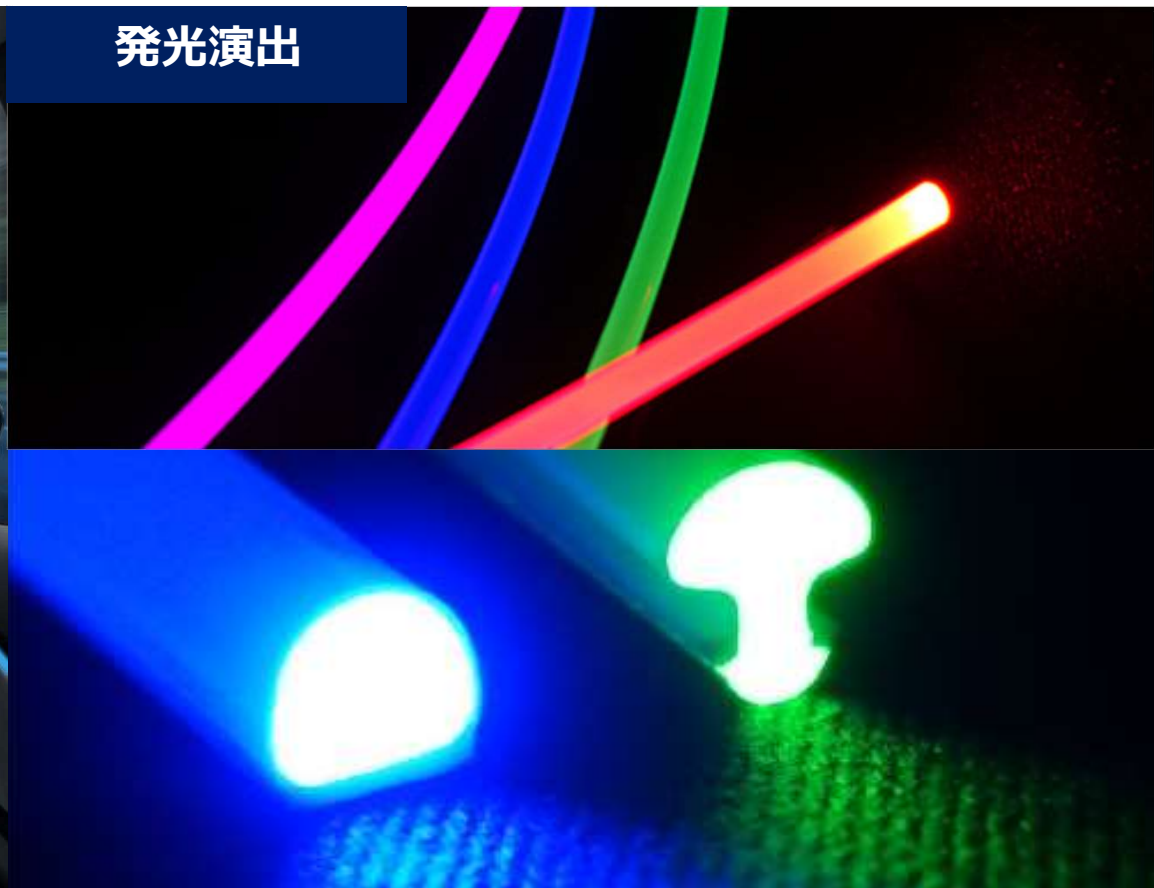


高透過



高透明・低反射パネル『ハーツラスAR』

発光演出



車載イルミネーション部材『光ガイディングバー』

2. 成長戦略 成長牽引分野の取り組み⑨



まちづくり



屋外家具ブランド『Fandaline』
(東京都港区：新田町ビル)

炭素繊維複合材（CFRTP）



NEDO*「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム／実用化開発フェーズ／熱可塑性薄層プリプレグを用いた革新一貫製造プロセスの開発」（事業期間2021年度～2024年度）を完遂
2025年度「NEDO省エネルギー技術開発賞」理事長賞を受賞

※国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

本日のご説明内容



1. 会社概要

2. 成長戦略

3. 業績推移と株主還元



3. 業績推移と株主還元 2027年3月期第1四半期決算(連結)サマリー



前年同期比 増収増益、四半期純利益は前年同期比50.5%増と大幅増益

■ 対前年同四半期比較

(単位：百万円、倍、%)

	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減
売上高	9,629	10,777	11.9↑
営業利益	384	552	43.8↑
経常利益	481	698	45.2↑
親会社株主に帰属する 四半期純利益	333	501	50.5↑
PBR	0.42	0.45	0.03↑
PER	11.64	8.93	2.71↓
ROIC	3.6	4.3	0.7↑
ROE	3.6	5.0	1.4↑

※ 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

■ セグメント別売上構成

(単位：百万円)

セグメント名	売上高	
	金額	構成比
建材事業	6,466	60.0%
CSE事業	2,756	25.6%
精密事業	793	7.4%
グローバル事業	901	8.4%
報告セグメント計	10,916	101.3%
その他	166	1.5%
(調整額)	△305	△2.8%
合 計	10,777	100.0%

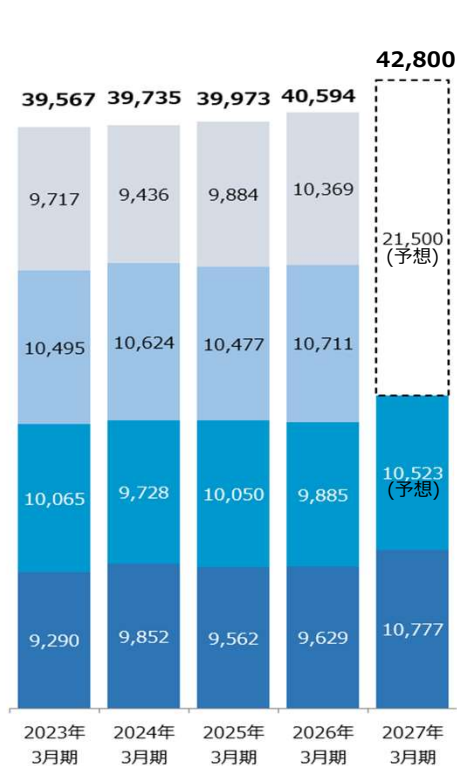
※ 調整額はセグメント間取引消去によるもの

3. 業績推移と株主還元 通期業績推移(連結)

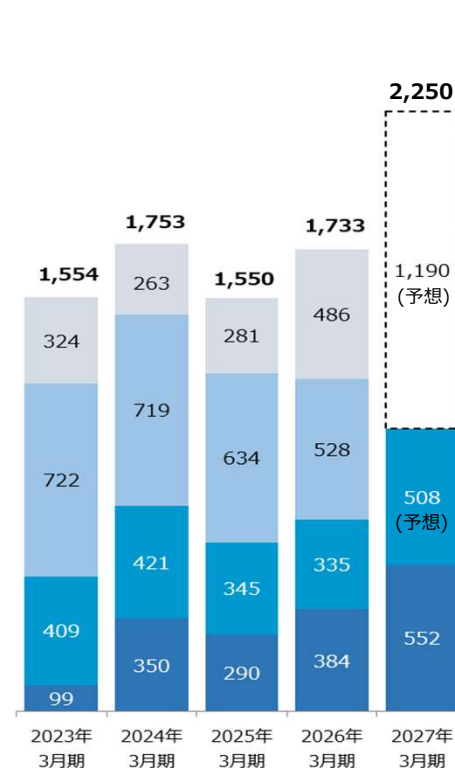


2027年3月期 通期連結業績は、未定としていた予想を公表し増収増益の見通し

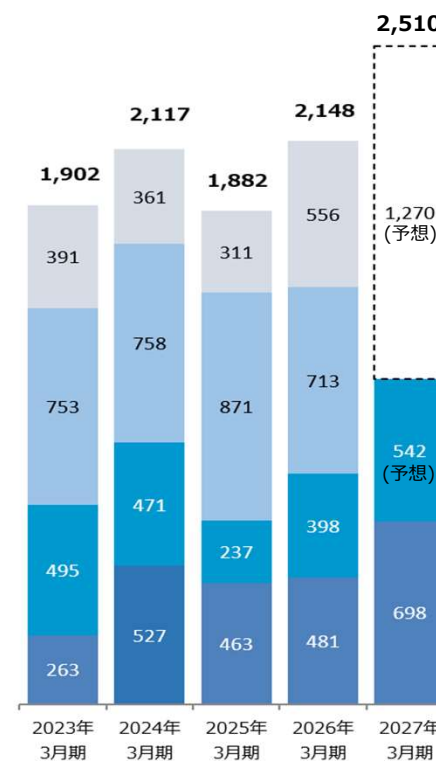
売上高推移



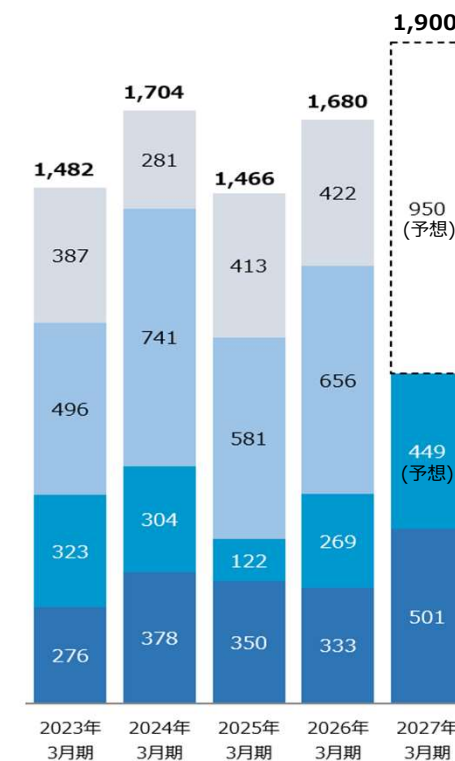
営業利益推移



経常利益推移



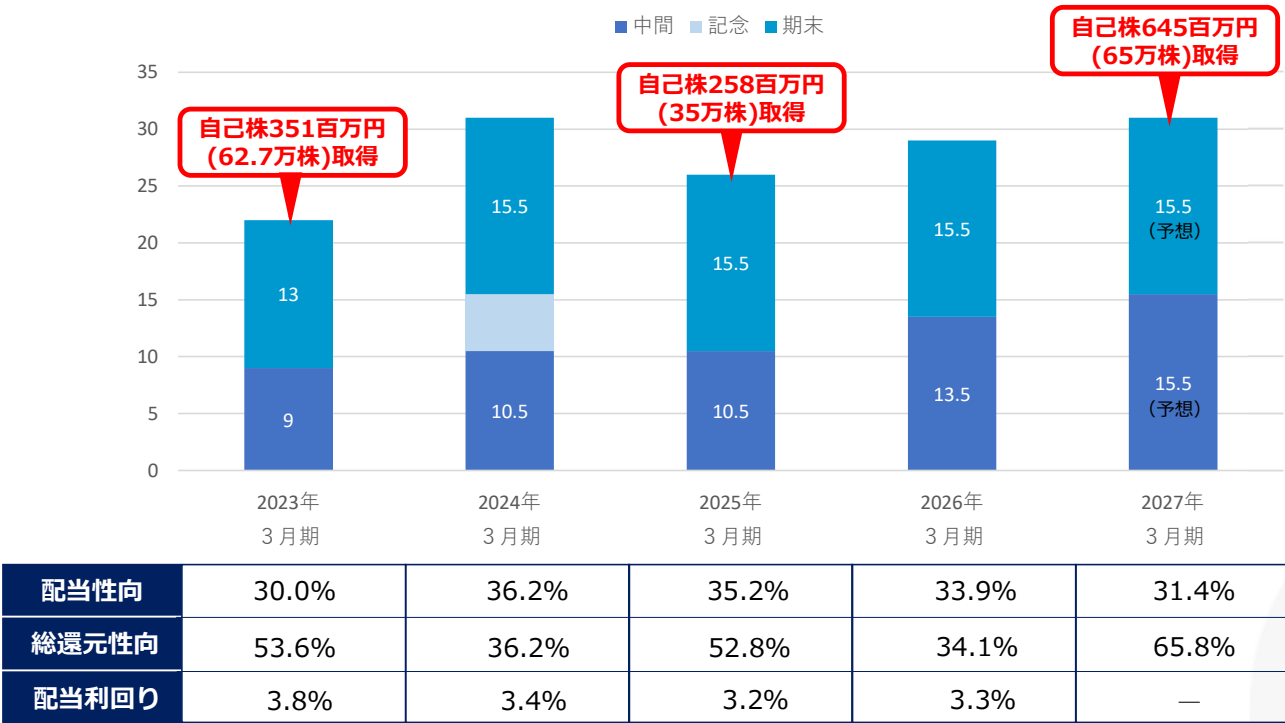
親会社株主に帰属する
当期純利益推移



3. 業績推移と株主還元 配当金の推移



2027年3月期配当は、2期連続増配となる1株当たり年間配当金**31円(前期比2円増)**を予定。



※1 各数値は、それぞれ会計年度末の実績を基に算定。

株主還元方針

安定的な配当を継続することを基本とし、将来に向けた成長投資に利益を配分しつつ、**配当性向30%以上**を原則とし、**累進配当***の導入と機動的な**自己株式取得**による**総還元性向の向上**により、株主還元の充実を図ります。

内部留保につきましても、重点事業領域への成長投資および事業基盤の強化のための投資資金に充当してまいります。

※累進配当：配当額の維持もしくは増配を原則とする配当政策

3. 業績推移と株主還元 株価の推移



※ 2023年1月4日～2026年8月31日までの株価・出来高の推移

フクビ化学の概要

70年以上にわたり培ってきた「樹脂」の“配合・成形・加工”技術により、建築資材から産業資材、精密化工品など様々な分野において新たな価値を創造・提案する“開発型”化学メーカー。

成長戦略

企業価値向上に向けた長期ビジョン「企業価値向上2030」を掲げ、成長戦略と財務戦略の両輪を推進することで、2030年度での**売上高500億円**
営業利益35億円、ROIC 7 %以上、ROE 8 %以上の成長を目指す。

業績推移と株主還元

資本効率を意識したバランスシート改革に取り組み、成長領域への投資と株主還元を強化。「累進配当」を導入し、2027年3月期は、2期連続増配となる**1株当たり年間配当金31円（増配）**を予定。

より詳細な情報は当社WEBサイトをご参照ください。

当社ホームページ

<https://www.fukuvi.co.jp/>



中期経営計画/企業価値向上2030～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

<https://www.fukuvi.co.jp/ir/strategy>



本資料に記載されている業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要因を含みます。
 実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。
 本資料に記載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。
 当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。

お問い合わせ先：経営戦略本部 広報・IR推進部 (0776-38-8415)